



## 笑顔満点!

中田新田 矢吹 恵さん 27歳

「お水、冷たい!」と大喜びの写真の歩花は、今年の6月13日で満1歳になりました。生まれた頃は、夜になると元気に泣いて、昼間になると天使のように眠りについて…。子育ては想像以上に大変なものだと実感しています。「かわいい。かわいい。」と育児を手助けしてくれる、おじいちゃん、おばあちゃんには、本当に感謝しています。また黒くて大きい犬のポニーは、背中に乗られようが、耳を引っ張られようが、いつもそばにいてくれる大切なお友達です。寝相のすごさにパパとママを笑わせてくれる歩花ちゃん。これからもたくさんのお発見や経験を積んで、心も笑顔も花のようにかわいらしい人生を歩んで下さいね。



「お水、冷たい!」歩花ちゃん(1歳3か月)

## マイカーデコレーション

### 友達の輪を広げる花作り!



「ペチュニア」「ポーチュラカ」が満開の花壇

ガーデニングを始めたきっかけは、8年前に洋酒のたるをもらい、そこにラベンダーを植えたことでした。それまでも、友人が狭い庭を工夫して美しい花をたくさん咲かせているのを見て、いつか自分も思っていたところ、たるが丁度よいきっかけをつくってくれました。

私のガーデニングは、あまり手をかけずに四季折々の花が楽しめるようにすることです。ガーデニングを始めてから、花を通じて友達の輪が広がりました。また、友達同士で珍しい花のやり取りもしています。

玄関前の限られたスペースですが、帰宅すると花が出迎えてくれるのはとても気分がよく気持ちがなごみます。通りがかりの人が、花壇の花を見て少しでも楽しんでいただけたらいいなと思いつつ、花の手入れをしています。 雷電町・三室 美子さん(54歳)

## KOGA 万華鏡

### 土井家の甲冑と儀式

秋の企画展に向けて



土井家伝来の甲冑

「古河藩の武具展」には甲冑(具足)4領の展示が予定されています。このうち古河藩主土井家伝来の甲冑は藩祖土井利勝のものとして伝承されてきたものです。その形態から現在には紺糸威二枚胴具足と表現されています。兜は椎形で吹き返しに土井家の家紋である八本水車紋を透かしています。(土井家の家紋は一般に六本水車が知られていますが、藩主によって八本を使用しました。)また兜の前立ては天衝という形で、古河藩を識別する合印になっています。藩主は金箔を押ししたものを使用します。

当日は五ツ時(午前8時)に城内に集まるよう指示が出されます。江戸藩邸の例では表御座之間の床に向かつて右側に若殿さまの具足、左側に殿様の具足が飾られ、熨斗・勝栗・昆布や神酒が供えられます。そのなかを藩主や重臣たちが定められた作法で儀式を執り行います。当日は一般の家臣にも供餅・ノシ昆布・ゴマメ・勝栗・冷酒が下げ渡されます。古河藩も江戸中期以降大変な財政難に陥り藩の行事や藩士の生活にいろいろの制約を設けましたが、御具足御祝儀式は特別に従来のままとされています。それだけ重要な位置を占めていたことが伺われます。今回の展示でその美しさとともに藩祖利勝の姿を思い描きながら鑑賞されてはいかがでしょうか。(同企画展は10月17日、11月24日まで)

古河歴史博物館学芸員 鷲尾政市

ところで、古河藩では例年正月11日に城内や江戸の藩邸で御具足御祝儀式(御具足開き)が行われました。